

# 86th Interim Business Report

*Passion for the Next Innovation*

～ 次なる革新への熱い思い ～

## 第86期 中間報告書

(2020年4月1日～2020年9月30日)



# Passion for the Next Innovation

～次なる革新への熱い思い～



## ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。ご挨拶申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

第86期第2四半期連結累計期間の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは今年度から、新たに策定した「中期経営計画2022 D-Active」の取り組みを開始しました。経営数値目標の達成を目指すとともに、DMWブランドの浸透を図り、全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業になることを目指し、鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様のご期待に沿うべく努力をいたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **村林秀晃**

## 当第2四半期連結累計期間における受注はどのような状況でしたか。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続く中、各国における感染拡大抑制策の段階的な緩和と経済対策等の効果により最悪期を脱し、徐々にではあるものの持ち直しの動きが見られました。他国に先駆けて経済活動を再開した中国では景気の回復傾向が持続し、欧米も景気の大規模な落ち込みの後、経済活動の再開等により持ち直してきましたが、感染再拡大の動きがあることなどから、回復ペースの鈍化が懸念されます。わが国経済においては、緊急事態宣言により大きく落ち込んだ個人消費が経済対策の効果等によって徐々に上向き、また製造業を中心に輸出に持ち直しの動きが見られましたが、景気の回復ペースは緩やかなものに留まっています。

このような中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注額は、官需部門、国内民需部門および海外部門それぞれで大型案件を受注するなど好調に推移したことから、同様に大型案件の受注が好調であった前年同期並みとなる127億46百万円（前年同期比95.1%）となりました。

## 業績はいかがでしたか。

売上高につきましては、官需部門と海外部門が前年同期に比べて増加したことから、64億55百万円（前年同期比104.3%）となりました。利益については、前年同期に比べて利益率の良い案件が多かつ

たことなどから、営業損失は99百万円（前年同期営業損失5億47百万円）、経常損失は20百万円（前年同期経常損失4億65百万円）と各損失ともに大幅に減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億38百万円）と大きく改善しました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する傾向があり、四半期別の業績には季節的変動があります。

通期の業績については、売上高215億円、営業利益23億円、経常利益24億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益17億50百万円を見込んでいます。

また、今年度の中間配当につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当初予定の42円50銭（創立65周年記念配当2円50銭を含む。）から2円50銭増配し、1株につき45円といたしました。なお、期末配当予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び通期連結業績予想等を勘案し、当初予定の47円50銭から7円50銭増配し、1株につき55円に修正いたしました。

## 今後の取り組みについてはどのようなものをお考えですか。

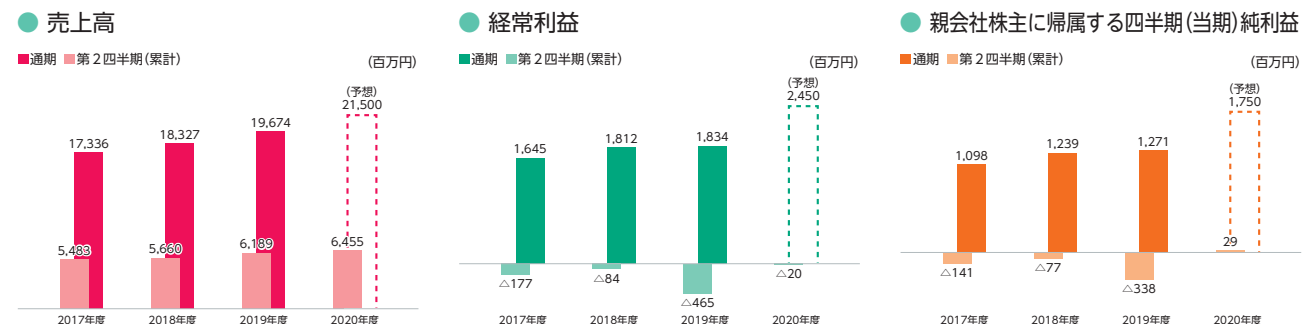
「中期経営計画2022 D-Active」では次のような基本戦略を掲げています。

- ①海水淡水化ビジネスを確立し、第4のビジネスとしての市場におけるDMWの認知度アップ
- ②独創的な製品開発とビジネスモデルの確立
- ③ストックビジネスの増強とメンテナンス体制の確立
- ④社員総活躍企業を目指したマルチタスク人材の育成やダイバーシティの推進などの人的資源の活性化
- ⑤SDGsを推進し持続可能な社会の実現に貢献
- ⑥「新しい生活様式」に則した働き方の新しいスタイルの推進

これらの戦略を、熱い思いで自らが牽引者となって推進し、全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業へ変身することを目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

## 連結財務ハイライト



## 当社は創立65周年 (創業110周年)を迎えました。

当社は1955（昭和30）年に前身である電業社原動機製造所の水車事業を株式会社東芝に移管し、ポンプ、風力機械などの製造・販売を行う新会社として発足しました。

前身会社の創業から110周年、当社として65年に亘り、「物作りの技術を中心とした企業活動」を行うことにより、社会や地域に貢献することを第一に考えて事業を展開してきました。

当社はこれからも、コアコンセプト「技術創生」のもと、電業社ブランドの浸透に向け、常に新しい技術を追求し続ける「技術の電業社」として、お客様それぞれのニーズにあった製品を提供することにより、お客様をはじめ全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業を目指してまいります。

## 「技術研究所建設」地鎮祭

当社は、三島事業所工場敷地内において技術研究所の建設を進めています。2020年9月29日に建設に先駆け地鎮祭を執り行いました。

新技術研究所は、新たな計測システムの導入により、新製品の開発を始め、ポンプ・送風機の性能開発、海水淡水化設備の開発を強力に推し進めます。同建物は高い耐震、防音性能に加え、屋上を緑化するなど、周辺地域の方々の快適な生活環境に配慮した構造としています。

なお、完成は2021年3月末を予定しています。



## 「ホームページリニューアル」

2020年8月、当社のコーポレートサイト（日本語）を全面リニューアルしました。新サイトではアクセスされる方がスムーズに情報を得ることができるようナビゲーションの充実を図りました。

コーポレートサイトとは別にリクルートサイトを立ち上げることで、採用をより一層強化する方針です。また、サポートページを新設し、お客様のフォローや有益な情報を発信してまいります。

IR情報ページでは情報の整理、掲載情報の拡充に注力しています。IRカレンダーでは年間のIRスケジュールと公開情報をまとめました。

当社のホームページでは、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様にも、迅速かつ分かりやすい情報を提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご活用くださいますようお願いいたします。



トップページ  
上下スクロールだけで全体を見られます。



製品情報ページ



IR情報ページ



リクルートサイト  
当社に興味を持っていただける様、学生向けに分かりやすく情報をまとめました。

ぜひアクセスして  
ご覧ください

スマートフォン、タブレット  
でも見やすくなりました。



<https://www.dmw.co.jp/>

## 東北農政局向け 排水ポンプ更新工事

今般当社は、東北農政局による国営最上川下流左岸農業水利事業の一環として計画された中央排水機場、毒蛇排水機場それぞれの更新工事を受注しました。

本地区は山形県の庄内平野に位置する鶴岡市、酒田市及び東田川郡庄内町にまたがる水田地帯で、その歴史は江戸時代初期1612年の北楯大堰開削事業に始まり、県営及び国営の事業が数多く実施されてきた長い歴史があります。近代では昭和40年代より県営かんがい排水事業等により湛水被害の軽減に寄与してきましたが、近年の降雨量の増加や土地利用の変化に伴い排水能力以上の雨水が施設に流入し、湛水被害が生じていました。

また中央排水機場は1973年稼働後47年、毒蛇排水機場は1970年稼働後50年を経過する中、経年的な施設の劣化により排水機能に支障を来しているとともに維持管理に多大な労力を要しています。本工事は施工上および維持管理上の技術提案が評価され、受注に至ったものです。本工事を完工することにより、排水機能の強化による湛水被害の軽減と維持管理の労力の軽減を図り、農業生産性の維持向上及び農業経営の安定に貢献すべく2021年度末工期に向け、製作を進めてまいります。

2020年6月

### 中央排水機場向け横軸斜流ポンプ3台(口径1,350mm)を受注しました。

本機場は酒田市落野目地内に滞留する雨水を最上川支流の京田川へ排水するもので、旧機場から約400m下流側に設置され、排水能力は旧施設318m<sup>3</sup>/minから今回672m<sup>3</sup>/minへと大きく増強されます。



2020年7月

### 毒蛇排水機場向け横軸斜流ポンプ4台(口径1,200mm)を受注しました。

本機場は酒田市丸沼地内に滞留する雨水を最上川へ排水するもので、旧機場の隣接地に設置され、排水能力は旧施設559.8m<sup>3</sup>/minから今回774m<sup>3</sup>/minへと大きく増強されます。

## サウジアラムコ社Tanajibガスプラント向け硫黄回収装置用燃焼空気ブロワ

2020年4月、欧州のエンジニアリング会社より、サウジアラムコ社のTanajibガスプラント向けに硫黄回収装置用燃焼空気ブロワ9台を受注しました。同プラントはサウジアラビアの東海岸に位置しており、今回のプロジェクトは東海岸沖のMarjan海上油田の拡張プロジェクトであり、原油生産能力を増強しエタン及び天然ガスを生産することを目的としています。

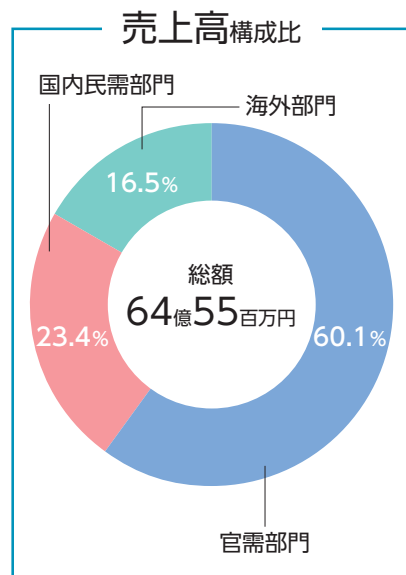
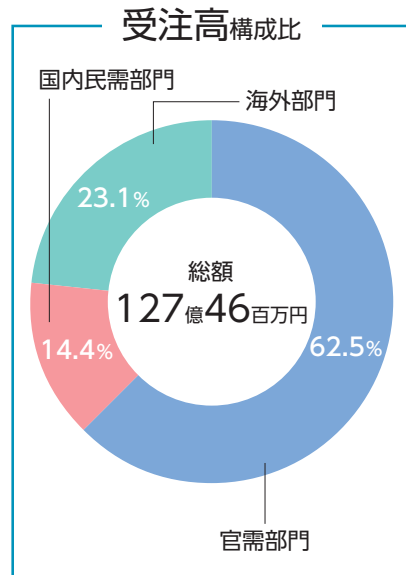
本ブロワは、Tanajibガスプラントの陸上処理施設拡張の一部として設置される硫黄回収装置の反応炉に燃焼用空気を圧送する主要機器として使用されます。

当社は、これまでにサウジアラムコ社の製油所及びガスプラント向けに70台を超える硫黄回収装置用燃焼空気ブロワを納入しており、信頼性を高く評価されています。今回受注した高圧力比ブロワ(商品名:AD-Turbo)は、当社の実績において過去最大クラスの多段ブロワとなります。同ブロワは、最新の性能モデルを採用することで従来機と比較してインペラ段数を低減し、コンパクト化を実現しています。

今後もさらなる品質向上、納入後の技術サポートなどを通じて顧客からの信頼を高め、拡大する世界のエネルギー需要への対応の一端を担ってまいります。



●過去に同社向けに納入した硫黄回収装置用燃焼空気ブロワ



## 官需部門

受注高 **79億68百万円**  
(前年同期比84.8%)

売上高 **38億80百万円**  
(前年同期比110.7%)



● 上水道施設向けポンプ

## 国内民需部門

受注高 **18億35百万円**  
(前年同期比103.3%)

売上高 **15億11百万円**  
(前年同期比83.6%)



● 石油化学プラント向け送風機

## 海外部門

受注高 **29億41百万円**  
(前年同期比131.8%)

売上高 **10億63百万円**  
(前年同期比121.3%)



● 製油所向け送風機

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	18,138	21,070
固定資産	6,428	6,180
有形固定資産	3,691	3,547
無形固定資産	157	149
投資その他の資産	2,579	2,483
資産合計	24,567	27,251
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,460	7,740
固定負債	275	312
負債合計	5,735	8,052
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	18,613	18,966
資本金	810	810
資本剰余金	111	111
利益剰余金	18,719	18,883
自己株式	△1,027	△838
その他の包括利益累計額	218	232
純資産合計	18,831	19,199
負債純資産合計	24,567	27,251

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所 検索 詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	6,455	6,189
売上原価	5,162	5,326
売上総利益	1,292	863
販売費及び一般管理費	1,392	1,410
営業損失(△)	△99	△547
営業外収益	98	102
営業外費用	18	21
経常損失(△)	△20	△465
特別利益	77	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	57	△465
法人税等	27	△127
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	29	△338
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△338

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

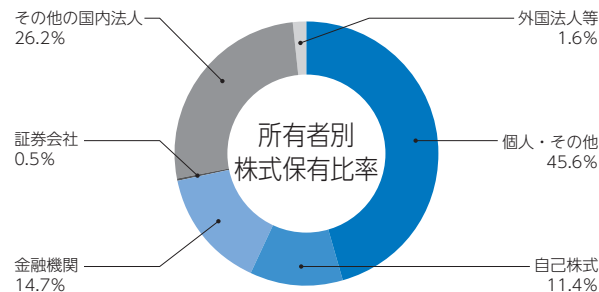
科目	当第2四半期(累計) 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,623	1,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459	△285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,769	820
現金及び現金同等物の期首残高	7,326	7,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,095	8,293

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

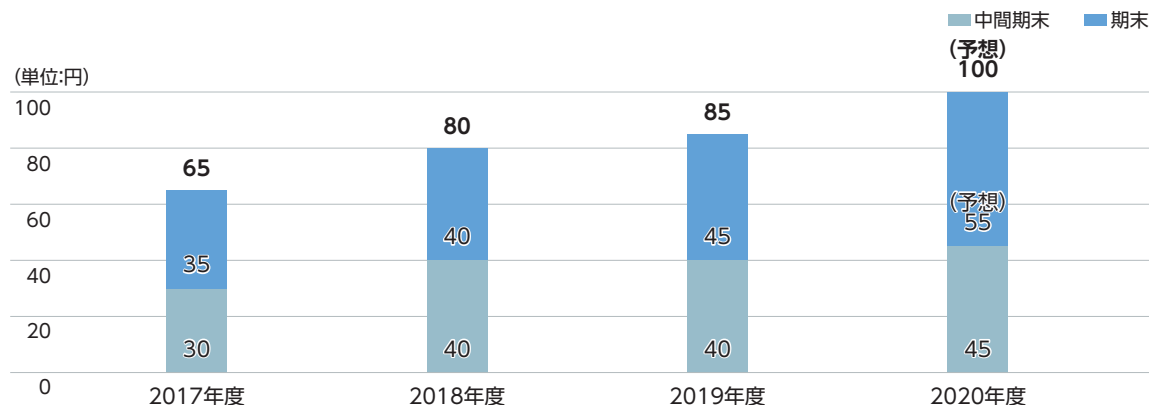
株式の状況

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	3,024名

株主構成



1株当たり配当金



(注) 2020年度中間期末配当金の内訳 普通配当42円50銭、創立65周年記念配当2円50銭

会社概要

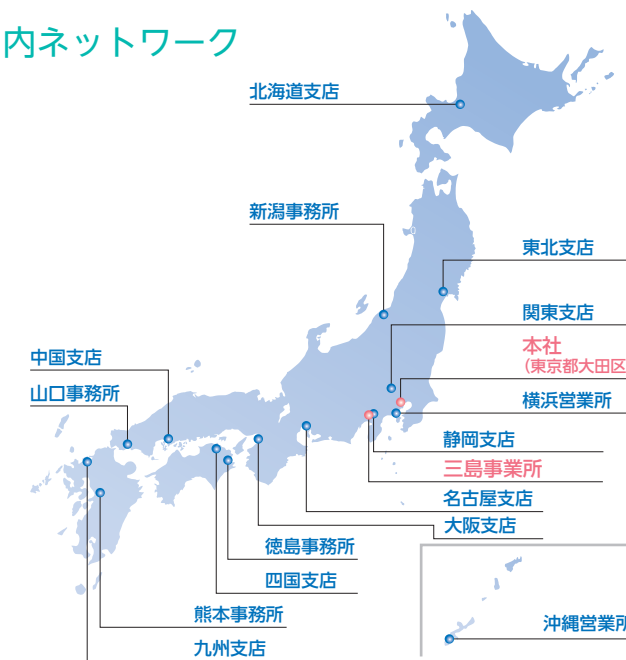
- 商号 株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
- 所在地 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
〒143-8558 TEL 03(3298)5115
- 資本金 810,000千円
- グループ従業員数 625名  
(うち契約社員81名、パートタイマー39名)

取締役及び執行役員

代表取締役会長	土屋 忠 博
代表取締役社長	村 林 秀 晃
最高執行役員社長	
取締役 彦坂 典 男	
上席常務執行役員	
取締役 稲垣 晃	
常務執行役員	
取締役 濱田 耕 一	
上席執行役員	
社外取締役	上地 崇 夫
社外取締役	杉井 守
取締役 (常勤監査等委員)	鯉沼 博 行
社外取締役 (監査等委員)	住田 知 正
社外取締役 (監査等委員)	多田 修
執行役員	青山 匡 志
執行役員	原 広 志
執行役員	山岸 嗣 宏
執行役員	永田 元 彦

ネットワーク

国内ネットワーク



国内子会社

- ・電業社工事株式会社 (本社：静岡県三島市)
- ・株式会社エコアドバンス (本社：静岡県三島市)

海外ネットワーク

海外拠点

- ・アブダビ支店 (アラブ首長国連邦)
- ・シンガポール支店
- ・大連事務所 (中国)
- ・米国拠点 (ヒューストン)

海外子会社

- ・DMWインド社 (本社：ムンバイ 工場：プネ)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.98
電業社取引先持株会	228	5.40
明治安田生命保険相互会社	175	4.16
株式会社明電舎	127	3.01
三井住友海上火災保険株式会社	121	2.87
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.84
株式会社三菱UFJ銀行	104	2.47
光通信株式会社	93	2.21
水道機工株式会社	70	1.67
株式会社鶴見製作所	65	1.54

(注) 1. 当社は、自己株式 (546千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により当社WEBサイトに掲載  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 株式会社 **電業社機械製作所**

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
TEL(03)3298-5115(代表)

## ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <https://www.dmw.co.jp/>



▲TOPページ



株式会社

電業社機械製作所



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。